

「天草市立4病院の方向性について」

・総括(病床数及び病床機能)

- ・4病院の病床数を現在の357床から2025年までに248床(109床)とする。
- ・病床数見直しによる空病棟及び空病床については、在宅医療・健康増進等を担う施設への改修等を行い、地域医療の拠点病院としての役割を継続する。
- ・人口減少など厳しい状況を見据え、2035年に向けて更なる見直しを図る。

	2019年(令和元年)	2025年(令和7年)
人口	27,673人	21,827人
急性期	105床	50床
回復期	103床	115床
慢性期	103床	73床
結核	46床	10床
計	357床	248床

・各病院の方向性

人口減少率については2019.4末住基人口と2015年国調に基づくコーホート法による将来推計人口との比較

牛深市民病院

【協議結果】

- ・下島南部エリアの拠点病院として急性期医療の充実を図る。
- ・ただし、急性期を終えた患者の受け入れ先として、一部回復期医療も確保する。
- ・慢性期医療(療養病棟)については、透析患者も多く急速な廃止は困難であるため一部削減するが当面は保持する。しかしながら河浦病院との連係を図り将来的には廃止を検討する。
- ・人口減少(2025年: 19.8%・2035年: 42.4%)による患者数減を見込み、病床数については、2025年までに118床とする。
- ・また、地域の民間医療機関と競合する診療科目等の見直しを行うほか、訪問看護・訪問リハビリ等の充実を図る。

	2019年(令和元年)	2025年(令和7年)
人口・高齢化率	12,406人 46.0%	9,953人 55.2%
急性期	105床	50床
回復期	-	35床
慢性期	43床	33床
計	148床	118床

河浦病院

【協議結果】

- ・牛深市民病院との機能分担を図り、慢性期医療中心の病院とする。
- ・しかしながら、河浦・天草地域での唯一の病院であり、救急機能・入院機能を有する病院として回復期病床も確保する。
- ・人口減少(2025年：23.1%・2035年：45.5%)による患者数減を見込み、病床数については、2025年までに66床とする。
- ・高齢化により病院バスでの外来も年々減少しており、訪問看護・訪問リハビリの充実を図る。
- ・地域連携室を機能拡充し、地域で一体となった医療・福祉・介護体制の充実を図る。
- ・また、天草町エリアでの地域医療の確保を視野に入れ、附属診療所の開設を検討する。

	2019年(令和元年)	2025年(令和7年)
人口・高齢化率	7,410人 47.9%	5,699人 55.5%
回復期	39床	26床
慢性期	60床	40床
計	99床	66床

人口は、河浦町・天草町計

栖本病院

【協議結果】

- ・結核病床(46床)は実績に合わせ2025年までに10床とする。
- ・人口減少(2025年：21.8%・2035年：42.2%)による患者数減も見込まれるところであるが、このエリアに代替する病院がないこと及び結核病床のためにも一般診療体制の維持が必要なことから、現在の病床数(24床)を保持することとする。
- ・糖尿病を中心とした生活習慣の専門医療を更に推進する。

	2019年(令和元年)	2025年(令和7年)
人口・高齢化率	4,907人 46.8%	3,836人 54.2%
回復期	24床	24床
結核	46床	10床
計	70床	34床

人口は、栖本町・倉岳町計

新和病院

【協議結果】

- ・人口減少(2025年：20.7%・2035年：41.6%)による患者数減を見込み、病床数については、2025年までの早い段階に30床とする。
- ・引き続き回復期リハビリ及び通所リハビリの充実を図る。

	2019年(令和元年)	2025年(令和7年)
人口・高齢化率	2,950人 45.8%	2,339人 57.3%
回復期	40床	30床